

NYYC GLOBAL TEAM RACE REGATTA 2018

出場報告書



2018 年 11 月

JSAF 代表チーム

市川航平、藤井麗

宮本貴文、小島広久

山本仁志、石山雄大

仲山景、駒崎ナエコ

チームキャプテン

小島広久

1. はじめに

JSAF 並びにご関係の皆様、この度は JSAF チームの一員として本レガッタに参加する機会を頂き、誠に有難うございました。この貴重な経験を今後日本のセーリング界へ活かすべく略式ですがご報告をさせていただきます。

2. レース概要

- ・主催 New York Yacht Club (NYYC)
- ・場所 米国 ロードアイランド州 ニューポート
- ・期間 2018 年 10 月 4 日～10 月 7 日（公式練習 1 日、レース 3 日間）
- ・参加数 10 か国 12 チーム（米国、イタリア 2 チーム）詳細別紙リザルトにて
- ・使用艇 ソナー級（必要数 24 艇に対し、20 艇用意）
- ・レース方式
ラウンドロビン（総当たり）の後、上位 6 チーム、下位 6 チームがそれぞれゴールド、シルバーフリートに分かれ、更にラウンドロビンを行い、最後にノックアウト方式にて順位決定戦を行う。（実際は時間の都合上順位決定戦は実施せず）
- ・アンパイア 3 カ国から 11 名参加（英国 3 名、米国 7 名、ブラジル 1 名）、1 フライットにつきリブボート 2 艇体制。
- ・リブボート 乗換用として 40ft のリブボート、他運営艇多数。

3. レースレポート

- ・毎朝 8:30 から NYYC セーリングハウスにてブリーフィング、レースコミッティー、アンパイアからユーモアを交えたハイレベルなレガッタを実現させるための有益なアドバイス、インフォメーション、レースフォーマットの提示。
- ・ブリーフィング後、フォートアダムのポンツーンに移動、指定のボートを艀装しドッグアウト、ウォーミングアップをしながら 20 分程度でレース海面へ到着。
- ・スタート 3 分前に準備信号、予告信号前からの位置取り、予告信号後からは 2 対 2 の激しいスタートシークエンスが始まる。レースは 2 対 2 のチームレースだが、1 対 1 のマッチレースの様相、得点は 1-2 又は 2-3 で勝ち、1-4 で負けとなる。理想は 1-2 逃げ切りだが、そのようなレースは殆どなく、レース展開が 1-4 2-3 の場合、1 位のボートが 3 位のボートを蹴落とすアクションを起こす、レースはこれが繰り返

される。初日はどのタイミングでアクションを起こすか躊躇していたが、レース後アンパイアからなるべく早いタイミングでアクションを起こし、ゲームを動かすべきとアドバイスをもらい、翌日からのレースに活かす事ができた。

・初日 成績 2勝7敗

風速 16knot 前後、スピンなし。レース後半から風速が落ち、スピンありへ変更。体重の軽い JSAF チームはアップウインドのセーリングで少しビハインドがある場面もあったが、フリートレースではない為、大きな差とはならない。それよりも早い仕掛けとレース展開にゲームを支配される場面が多々あり、負けが先行した。

・二日目 成績 4勝1敗

風速 6~10knot、初日レースの積み残しとゴールド/シルバーに分かれてラウンドロビンを実施。午前中は風速・風向が定まらず、海上にて待機。

レース運びに対する慣れと、体重・軽風域のセーリングスキル・ボートスピードのアドバンテージにより余裕を持ってレースに挑めた。

・三日目 成績 5勝2敗

ラウンドロビンの残りを実施、時間切れにより順位決定戦なし。

レースは序盤判断ミスによる取りこぼしがあったが、ミーティングで改善し、シルバーフリート 2 位、総合成績 8 位となりました。

お世辞もあったと思いますが、三日間のレースを通じて JSAF チームのスマートセーリング、並びに軽風域でのボートスピードは称賛されるものがありました。

少なからずインパクトは残せたと思います。

4. ホスピタリティ

レース初日、NYYC クラブハウス内にて夕食会。各チームメンバー、コミッティー、アンパイアの交流を促進させる為、12 チームが混ざるように座席指定。ロブスターとワインを楽しみつつ、日頃のセーリング活動の様子など有意義な情報交換の場となった。

レース二日目は、ShipYardGarden にてカジュアルパーティー。

前日とは違った雰囲気交流を深める機会となった。

5. 所感

- ・参加 12 チームの内、チームレースの国際大会に初めて参加するのは、日本とアルゼンチンのみ。他国においてチームレースはスタンダードなものであり、今回参加選手のバックボーンは様々で、オリンピックキャンペーンをしている選手、マッチレースのタイトルホルダー、チームレースをターゲットにしている選手、他キールボート、ディンギーセーラーなど多種多様であった。

いづれもセーリングというキーワードにおいては垣根の無い幅広い活動をしている

事を実感しました。

- ・今回本レースが開催された事は、来る 2028 年米国にて開催されるオリンピックをターゲットに、チームレースを五輪種目にしたいという米国の意志によるものであり、その可能性は十分にあると感じました。

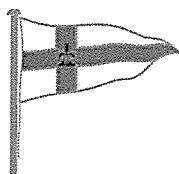
翻りこの種目において、現在日本はとても立ち遅れています。

しかし、2028 年を見据えた上ではまだ十分に時間はあります。

この現実を体感させて頂いた我々には、この事実を日本のセーリング界に展開・共有させる責務があると考え、今後国内においてその思いを共有できる方々と連携し、その発展に努めたいと思う所存であります。

- ・オリンピック種目になりうる可能性については、既存の他種目と比べて、2 対 2 の国別対抗である事（ナショナリズムを煽る点）、7 つのブイを回る事（現状のレースフォーマット）により順位が明確である事から誰が見てもとても分かり易く、今までのセーリング種目にはない観客が応援し易いレースになる事から十分であると思います。
- ・今後日本における強化種目の一つとして、このチームレースは十分検討に値すべきではないかと考えます。男女混合種目である事、他艇種と比較してフィジカルよりもチームワーク・レース戦術に長けたチームが勝利をものにする要素が多く詰まっているこの種目こそが国民を魅了し、且つ日本にメダルをもたらす可能性が非常に高いと強く認識しました。
- ・今現在国内において、チームレースの活動はとてもマイナーで、ジュニアのトレーニングが主体であり、レースとしては広島で約 10 年前から開催されている OP 級・スナイプ級を使用して開催されているレースのみです。
残念な事にこのレースですらその知名度は低いと言わざるを得ません。
- ・この点を線にする事を初めの一步として、トップダウンと共に潜在的なボトムアップを有効的にリンクさせ、継続的に国際レースへチームを派遣する事が将来へ繋がる効果的な手段であると思います。
- ・最後に、三日間で計 127 レースを、バイアスの無い適正なコース設定でレース運営を行ったコミッティーと、11 名で 127 レースを公平に裁いたアンパイアの仕事はとても素晴らしいものでした。競技をする選手は勿論のこと、コミッティーの運営能力、アンパイアのケーススタディーなど、それに関わる全ての関係者が成長できるのがチームレースだと感じました。あらゆる面でセーリング後進国である日本が見習って、積極的に取り組むべき世界です。

- ・2019 年は英国 Royal Yacht Squadron (カウズ) にて 第 2 回 GLOBAL TEAM RACE REGATTA の開催が決定しております。(別紙にて)



RYS GLOBAL TEAM RACING REGATTA 2019

PROVISIONAL NOTICE OF RACE

Organizing Authority:
Royal Yacht Squadron

HIGH WATER PORTSMOUTH
25 September 2019 09:20 BST 4.6m
26 September 2019 10:20 BST 4.5m
27 September 2019 11:00 BST 4.8m
28 September 2019 11:50 BST 5.0m

1. RULES

The Regatta will be governed by:

- 1.1. The Rules as defined in the current Racing Rules of Sailing (RRS), including Appendix D, Team Racing. The Sailing Instructions (SIs) will describe changes to the Rules.

2. ELIGIBILITY AND ENTRY

- 2.1. Yacht clubs will be invited to enter by the Organizing Authority (OA), in-line with the Global Team Racing Regatta Declaration of Trust.

3. TEAMS

- 3.1. The qualification of crew eligibility will be as described in the Declaration of Trust.
- 3.2. Each team shall consist of two skippers and crew for two boats, a total of eight persons.
- 3.3. Of the eight persons, each team shall have a minimum of three males and three females.
- 3.4. Substitutions will not be permitted without prior approval of the Race Committee.

4. SCHEDULE OF RACING

- 4.1. Boats will be provided by the Organizing Authority (OA). Spinnakers will not be used.
- 4.2. The format of racing will be two-boat team racing.
- 4.3. The Mandatory Initial Briefing will be given at 18:30 BST on 25 September 2019 at RYS Castle, Cowes.
- 4.4. No Warning Signal will be made after 16:00 BST on the last day.

5. SAILING INSTRUCTIONS

- 5.1. Copies of the Global Team Racing Regatta Sailing Instructions (SIs) will be available will be available online at www.rys.org.uk one month before the event, and from the RYS Lodge on the evening preceding the Regatta.
- 5.2. Changes to the RRS will be listed in the SIs Addendum C.

6. SCORING SYSTEM

- 6.1. Event Scoring will be in accordance with the SIs Addendum D.

7. VENUE

- 7.1. The intended Race Area will be in East Osborne Bay, the Solent.
- 7.2. The boats will be moored in Shepards Wharf Marina, Cowes, PO31 7HT.
- 7.3. Shoreside activities will take place at RYS Castle and the Sugar Store, Shepards Wharf Marina.

8. PRIZES

- 8.1. Prizes will be awarded to the top three finishing teams.

Gold Mini RR

Pen.











以上

